

総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会
熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会（第25期・第2回）議事要旨

1. 日 時 令和4年4月14日（木）13:00～15:00
2. 会 場 遠隔会議（主催会場：信州大学先鋭材料研究所）
3. 出席者 北川尚美、岩城智香子、青柳みどり、加藤之貴、木村誠一郎、古山通久、高瀬香絵
福島康裕、藤岡恵子
オブザーバー：能村貴弘

4. 議 題

- 1) シンポジウム企画について
- 2) 意思の表出について
- 3) 話題提供（北川委員、古山委員）

5. 配布資料

資料-1 公開シンポジウム「カーボンニュートラルに向けた熱エネルギー利用の可能性と課題」報告書

資料-2 「提言等の在り方の見直しについて」

6. 議 事

- 1) シンポジウム企画について

資料-1に基づき、昨年11月に開催した公開シンポジウムについて、藤岡委員より全体の概要報告があった。2022年度中に新しい熱エネルギー利用技術に着目した構成再度公開シンポジウムを行うこととし、企画案を検討した。また、本件をカーボンニュートラルシ C.N. シリーズ学術フォーラムとして提案することとした。

- 2) 意思の表出について

・今期末に「報告」として意思の表出を行うことが提案され、承認された。工学系と社会科学系の委員の専門分野を融合させた熱エネルギー利用社会の可視化や、排熱解析などのモデル解析も取り上げ具体的な方法論も提示してゆきたい。

- 3) 話題提供

・北川委員より、バイオマスを原料とした脂肪酸エステル蓄熱材について紹介があり、本蓄熱材の建築分野での利点、実用化への課題について議論した。
・古山委員より、脱炭素・循環経済の潮流と基礎研究について、技術の社会実装へ向けて留意すべき

評価基準、社会科学的視点、問題の軸・枠組み設定の重要性が事例に基づいて紹介された。

・これと関連して、青柳委員よりMLP理論を基に、新技術だけでなく経済や社会との係りからイノベーションへの道を考察する方法論が紹介された。